

2021年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	60%	30%	10%	人数が多いときは狭いと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	80%	20%	0%	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	60%	30%	10%	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画* ¹ が作成されているか	100%	0%	0%	
	5	活動プログラム* ² が固定化しないよう工夫されているか	90%	10%	0%	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	50%	30%	不要です
保護者への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10%	30%	60%	不要です 息子の教室には保護者会等ありませんが、私個人はそういった活動は特に必要性を感じないので、問題無いと思います。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	70%	30%	0%	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	90%	10%	0%	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	70%	20%	10%	
	14	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
非常時等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	70%	10%	20%	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%	0%	0%	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	80%	20%	0%	
	18	事業所の支援に満足しているか	90%	10%	0%	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

いただいたご意見と改善案

問 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

[ご意見]
・人数が多いときは狭いと思います。
・

[改善案]
・活動の工夫や、自由時間の過ごし方等、限られたスペースでいかに安全に過ごせるか考えながら支援にあたりたいと思います。

2021年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
境・ 体制 整	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	67%	22%	11%	利用児童の人数による。また、低学年の児童が大きくなった際、狭くなると考えられる。
	2	職員の配置数は適切であるか	89%	11%	0%	今後、職員の専門性の向上が課題
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33%	67%	0%	トイレが狭い 現状は段差等に問題はないが、今後は改善を必要とするかもしれない。
業 務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	56%	44%	0%	パート勤務者への周知の方法に課題がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	44%	33%	11%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11%	78%	11%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	56%	44%	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	0%	78%	11%	行っているがフォローアップは不十分
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11%	67%	22%	ツールは使っていない。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0%	44%	56%	脳バランスの取り組みは成果をなしていると思う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	33%	56%	11%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	78%	33%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	22%	44%	33%	
	14	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	78%	22%	0%	職員を適切に配置し、支援できていると思う。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	78%	22%	0%	
	16	支援終了後」には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11%	44%	44%	
	17	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	89%	11%	0%	記録の書き方など、専門性を高めていく必要がある
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デーサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	22%	44%	33%	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	89%	11%	0%	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	89%	11%	0%	把握していない
	21	学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	0%	44%	56%	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	44%	44%	11%	現在、受け入れていないため、連携体制は整っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	33%	0%	行っていない 情報共有は適宜行われているが、記録等はないので、情報をまとめておけるものがあるとよい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	89%	11%	0%	卒業生はいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33%	56%	11%	研修は、必要に応じて受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	44%	44%	22%	行っていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	44%	33%	22%	参加している
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	0%	0%	0%	送迎時に適切に報告、相談、連絡等行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	0%	0%	
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	0%	0%	0%	
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	0%	0%	0%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	0%	保護者同士のかかわりがないので、事業所が一つのかかわりの場になれば良いと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0%	0%	0%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0%	0%	0%	会報はない。毎週インスタグラムに活動の様子は載せている。
	35	個人情報に十分注意しているか	0%	0%	0%	
非 常 時 等 の 対 応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	0%	0%	0%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	0%	0%	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0%	0%	0%	今後マニュアル作成を行うことが検討されていると思われる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	0%	0%	0%	定期的に避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	0%	0%	0%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0%	0%	0%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0%	0%	0%	保護者からの聞き取りが主である
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0%	0%	0%	

職員による自己評価

A 環境面

- ・おおむね「はい」の回答が多かったが、子どもたちが大きくなった際、スペースが狭く感じることがあると思われる。

B 児童への支援内容

- ・職員全体で支援の内容を共有し、実践に当たっている。
- ・課題としては、アセスメントツールを作成または選定し、活用していくことがあげられる。

C 関係機関との連携

- ・全体的に、「はい」の回答が多かったが、一方で「いいえ」「どちらともいえない」の回答もあった。
- ・卒業生がいないことや、医療的ケアが必要な児童がいないことから「いいえ」「どちらともいえない」との回答があった。
- ・職種間での回答の差異があったことが課題となる。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・おおむね「はい」の回答であった。

E 非常対応

- ・避難訓練は定期的を実施しているが、マニュアル等の作成が追いついていないため、作成が急務であると思われる。
- ・アレルギーの対応は、病院からではなく、保護者様へ、確認を行っている。

保護者による評価

A 環境面

- ・おおむね「はい」の回答が多かったが、人数が多いときは狭いとの回答もあった。

B 児童への支援内容

- ・ほとんど「はい」の回答が多かった。活動が固定化されていない。放課後等デイサービス計画が客観的に分析されたうえで作成されていると感じられている。

C 事業所からの情報発信

- ・説明等の項目でも、保護者様より、肯定的な評価を頂いている。
- ・父母会の開催については実施していないので、「どちらともいえない」や「いいえ」の回答が多数であった。またその中で、保護者会は不要との話も出ている。

D 非常対応

- ・必要な避難訓練は行われているかとの項目は、100%「はい」であった。



事業所内での分析

【共通点】

- ・環境面について、スペースが狭く感じる可能性がある、と共通の認識があった。
- ・説明責任については、やり取りができていると互いに感じているとわかった。
- ・毎月の避難訓練があるため、必要な訓練は行われていると感じる回答がほとんどであった。

【相違点】

- ・父母会については、保護者様からは、必要ないとの回答があったが、職員間では、あっても良いのではないかと回答があった。
- ・児童への支援内容についての課題としては、アセスメントツールを作成または選定し、活用していくことがあげられる。

分析・検討してみて...

事業所の強み

- ・午前中に前日あったことを全体で共有し、支援内容に反映させている。
- ・職員数が多い為、目が行き届きやすい。
- ・非常時への意識が高く、避難訓練等の実施を確実にしている。

事業所の改善点

- ・パート職員への情報共有の方法を明確にし、全員が一層、目的を共有し支援にあたれるようにする必要がある。
- ・職員、個々のスキルアップを目指していく。
- ・職種間での回答の差異があったことが課題となる。

事業所の改善への取り組み

- ・パート職員が出勤の際に、情報を的確に収集できるように共有ノートを作り、情報を得てから支援にあたれるようにする。
- ・パート職員も含めて、空いた時間で放課後等デイサービス計画を確認するようにする。
- ・個々のスキルアップのため、研修で受けたことの共有や、振り返り、事例検討等を定期的に行っていく。
- ・職種間での差異を埋めるため、定期的なミーティングや振り返り等で、より丁寧に子どもたちのことを共有する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者様がどのような認識で事業所を利用し、評価しているかがわかったのでとても良い機会でした。また、事業所の強み等もわかったのでそこを活かし、今後の支援のブラッシュアップに繋げていきたい。